



自らまなび 心豊かに
たくましく生きる
江北の子を育てます

江北小学校だより

～誰もが幸せを感じる学校をめざして～ 校長だより第6号

令和3年9月2日(木) 江北小学校 校長 篠原 一彦

「良かったな！頑張ったな！」



と思える2学期に！

夏休みが終わり、いよいよ2学期が始まりました。今年の夏休みは東京オリンピックが開催され、8月豪雨、新型コロナウイルス感染症対応のため学習日の中止があるなど、いつもの年とは違った夏休みとなりましたが、42日間の夏休みの中で子ども達はいろいろな経験をし、成長してくれたことと思います。

2学期は1年で最も長い学期です。その中で特に子ども達の心身の大きな成長が期待できるのが体育大会、バス旅行、宿泊学習、修学旅行などの「学校行事」です。新型コロナウイルス感染症予防に最大限の努力と工夫を行い、楽しく、達成感、成就感を味わうことのできる学校行事を経験させたいと考えています。

保護者様、ご家族の皆様、地域の皆様には、ぜひ2学期も江北小をお支えいただきますよう心よりお願い申し上げます。



G I G Aスクールが始まります！

2学期から子ども達に一人1台、タブレット型のパソコンが配付されます。これは国のG I G A（ギガ）スクール構想の一環として、日頃の授業での調べ活動や話し合い活動、ドリル的習熟練習、発表活動などにパソコンを用いて学習をより充実させるものです。遠くの学校とのライブ交流や、将来的には家庭へのオンライン授業も期待されています。今、先生方は授業の仕方や有効なソフトの使い方を身につけようと研修をがんばっています。2学期からの実践にどうぞご期待ください。

9月・10月の主な行事



- 9/1(水) 始業式・ノーTV・ゲーム・スマホデー
- 9/2(木) 午前中5時間授業(3日まで)
給食開始
- 9/6(月) 通常校時開始・教育実習開始
- 9/7(火) 地区児童会
- 9/13(月) 体育大会練習開始
- 9/24(金) 弁当の日
- 10/3(日) 体育大会(午前中日程)
- 10/4(月) 体育大会代休
- 10/19(火) おくんちの日(午前中2時間授業)
- 10/23(土) フリー参観(地区別授業参観予定)



2学期の新型コロナウイルス感染症対策

◎ ウイルスを学校に持ち込まない、学校で感染させないために、毎朝の体温測定と本人およびご家族様の健康観察をお願いします。

- ・ ウイルスの潜伏期間はおよそ14日間で、発熱等の症状が出る場合は感染後4～5日目に出ることがほとんどだそうです。症状が出ている時が最も人に感染させやすい状態です。これまでは発熱という症状は、風邪に由来すると考えてきましたが、今はコロナに由来する発熱も考えられます。お子さんやご家族に発熱がみられる場合はなにとぞ登校を見合わせていただくようお願いします。(医療機関を受診してコロナ由来でない発熱と診断が出たり、快方に向かったりしていれば登校可能です。)



◎コロナ禍における学校行事について

1学期は学校よりお願いした感染症予防対策に、保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力を賜りまして誠に有難うございました。

2学期の学校行事につきましても、内容の削減・縮小、時間の短縮などが必要な状況です。現時点での主要な行事の実施方針・計画をお伝えしておきます。

【体育大会】

10月3日(日)に、競技を徒競走・応用徒競走・団体演技に絞り、午前中開催として実施する予定です。ご家族の参観は昨年度と同様に人数を制限させていただき、ライブ中継を行う予定です。

【バス旅行(1～4年生)】

バスの台数を増やして密にならないようにし、佐賀県内の見学地において実施する予定です。

【宿泊学習(5年生)・修学旅行(6年生)】

5年生は11/25(木)～26(金)に黒髪少年自然の家で安全対策を講じて実施する予定です。

6年生も11/17(水)～18(木)に長崎への1泊2日の修学旅行を行う予定ですが、現在見学地や宿泊の方法を検討しています。

いずれも事前に説明を行います。コロナの状況によっては日帰りでの実施となる場合もあります。

【授業参観】

10月23日(土)のフリー参観日に授業参観を実施する予定です。保護者の皆様が教室や廊下で密にならないよう、実施時間を地区ごとに分けて行わせていただく予定です。

児童や保護者様、教職員から新型コロナウイルス感染者や濃厚接触者が出た



場合の学校の対応（学級閉鎖や休校の考え方）について

小学校の関係者（児童やご家族様、教職員）に新型コロナウイルス感染者や濃厚接触者が確認された場合、現時点では以下の対応を行う予定です。



①児童が「感染者（陽性）」と判定された場合

8月27日、国より学級閉鎖を行う場合のガイドラインが示されました。これを受け、佐賀県から「陽性の児童や教職員が出た場合はすみやかに学級を閉鎖するように」との指示がありました。学級閉鎖の必要性が生じた場合は文書やマチコミメールで当該学級の保護者様に「学級で陽性者が確認されたので学級閉鎖をします。」という情報をお知らせし、学級を5～7日間閉鎖します。閉鎖中は教職員が教室などを消毒し、並行して担任やクラスメートへのPCR検査が進められます。学級閉鎖のクラスの子ども達は自宅待機（自宅学習）となります。感染者は療養後、健康観察期間を経て復帰となります。

なお、発症前の2日間（無症状であればPCR検査日の2日前）から当該児童との接触がなければ、濃厚接触者や検査の対象者とはみなされません。また濃厚接触者とは、陽性者と①1m以内の距離で ②マスクをしないで ③15分以上の会話などの接触があった場合とされています。

②児童が「濃厚接触者」に判定された場合

「濃厚接触者が出た」という情報は発表しませんが、当該児童は出席停止となりPCR検査が実施されます。検査結果が出るまでは学級は教育活動を継続します。児童が陰性であった場合、学級は教育活動を続けます。当該児童はその後2週間程度健康管理が行われ、再登校はその後となります。当該児童が陽性と判定された場合は、①の対応になります。

③保護者様（ご家族様）が「感染者（陽性）」と判定された場合

保護者様が感染者（陽性）となり、お子さんが濃厚接触者と判定されれば②と同じ対応となります。お子さんは出席停止となりますが、その時点では学級は閉鎖しません。お子さんのPCR検査の結果が陰性であれば健康管理ののち、再登校が許可されます。陽性であれば①と同じで、学級閉鎖すべきかどうかを保健所・町教委・学校で協議し決定します。

④保護者様（ご家族様）が「濃厚接触者」に認定された場合

保護者様のPCR検査結果が判明するまではお子さんは出席停止となります。保護者様が「陽性」と判定され、お子さんが「濃厚接触者」となった場合は②の対応になります。保護者様が「陰性」と判定されれば、お子さんは登校できます。

⑤教職員が「感染者（陽性）」と判定された場合

「教職員から陽性者が出た」という情報を発表し、感染が確認された日から関係する学級（学年）を閉鎖します。濃厚接触者として児童がPCR検査の対象になる場合があります。教育活動の再開は保健所等の指導に従った上で町教委が決定し、その間学校は消毒等の対応を行います。

⑥教職員が濃厚接触者に認定された場合

教職員が濃厚接触者となれば②と同じ対応となります。検査結果が陰性であれば閉鎖は行わず教育活動を継続します。教職員が陽性と判定されれば⑤と同じで学級閉鎖となります。

これらの対応はそれ以上感染者が増えないように行うものです。最も大切なことはたとえ感染者や濃厚接触者が出ても落ち着いて対応し、安全を確保して教育活動の再開・継続に努めること、感染者や濃厚接触者を責めず一日も早い快復を願うことです。新型コロナウイルスに感染しようと思って感染する人は誰もいません。感染者に対するいじめや差別、誹謗中傷は病気にかかるよりも恐ろしいことです。絶対にそのようなことが起こらないよう、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いします。